

項 目	内 容
開会 14：30～	(事務局：欠席委員の紹介)
町長あいさつ	(中山町長：あいさつ)
各委員の自己紹介	
会長・副会長の選出	松田会長、桃田副会長
議題	計画の概要について (事務局：説明) 議題1 稲美町子ども計画 推計値・実績値対比資料について (事務局：説明) 【質疑応答】 (委員) (12) こども誰でも通園制度について、いなみっこ広場で行う一時預かりとの違いは？ また補助はあるのか？ (事務局) 一時預かりであれば、利用するにあたり自宅で保育ができない等の要件が必要。また、一部町から補助がある。こども誰でも通園制度は、簡単にいうと幼稚園部分の0、1、2歳版のようなもの。利用するのに要件は不要だが、利用できるのが月10時間まで。どこにも通園していない方であれば、登録・利用できる。 (委員) 幼稚園ではなく、あくまでも保育園での実施するのか？ (事務局) 稲美町では保育園の方で運営を準備している。 (委員) 今も待機児童が出ているが、こども誰でも通園制度が始まり受け入れができる見込みは？また、そのための手だてみたいなのは何かあるのか？ (事務局) 一般型といって、受入れ定員数や先生の人数によってはキャパに余裕がある歳児で検討している。町内園の中で、0歳児で実施をできないか園と調整をしている。

(委員)

(15) 満三歳以上限定小規模保育事業について。3～5歳児は0人となっているが、現在も未就学児が入っているということか？

(事務局)

小規模保育事業所は、現状、預かれる年齢は0、1、2歳のみ。今回、制度が拡大され、3、4、5歳も対象となったが、稲美町の現状にはそぐわない部分もあり、受入れの予定は0人としている。

(会長)

(3) 子育て短期支援事業（ショートステイ）について。令和7年度の実績が27人と数値が増えているが、これはニーズが増えたのか、制度を周知したことによるものか？

(委員)

令和6年度に、ひとり親世帯や生活保護世帯等に対して利用料金を下げたことによるほか、受入れ先を増やし、事業の拡充を行った結果である。

議題2 稲美町こども計画 進捗管理について

(事務局：説明)

【質疑応答】

(会長)

P3①出合いや結婚の支援の婚活パーティについて。参加できる方は、2市2町に住民票がある方に限定されているのか？また、結果として結婚までいたった組はあるのか？

(事務局)

男性は2市2町に在住、女性は在住または在勤の方が対象。約30名で実施し、5組が成立。連絡先を交換するところで終了。その後については追っていない。

(会長)

その後、結果を追うことについてはどう考えているのか？

(事務局)

結果を追うことはプライベートな問題でもあるので、町としてサポートできるのは一旦ここまで。その後、結婚、出産を経て相談があればその時はしっかりとサポートしていきたいと考えている。

(委員)

P10「こどもの権利」に関する周知・啓発について。こども計画の概要版を小学4～6年生に配付したとあるが、中学生には配付していないのか？

	(事務局) 中学生については、概要版を配付している。 (委員) 引きこもりについては、明石若者サポートステーションが包括していると思うが、引きこもりの若者について、どの程度町で把握しているのか？ (事務局) 年齢問わず、引きこもりの把握は難しい。全国的にも数パーセントとなっているが、把握はできていないのが現状。 (会長) 引きこもりの保護者から相談はあるのか？ (事務局) 相談はある。教育委員会と連携して対応し、自宅訪問することもある。 (委員) 明石若者サポートステーションは自ら登録するもので、働くことに悩みを抱えている人が対象で、一概に引きこもりとは言えない。 (委員) P16外国人のこどもへの支援について。国際交流協会が日本語教室を開催し、こどもの受講者は0人となっているが、こども向けの内容なのか？また、課題などはあるか？ (事務局) 対象は大人向け。内容としては、ボランティアによる教室のサポートを行っている。
その他	その他 (事務局) ・加古保育園の認定こども園化についての現状報告 ・来年度は計画見直しにより、会議を3回程度開催予定
閉会	閉会のあいさつ (副会長：あいさつ)